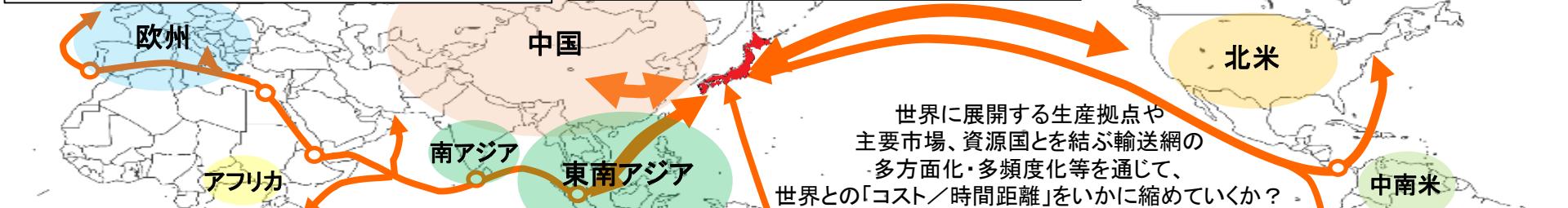
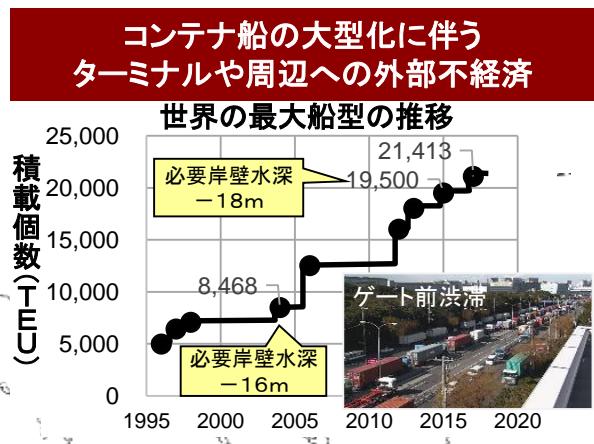
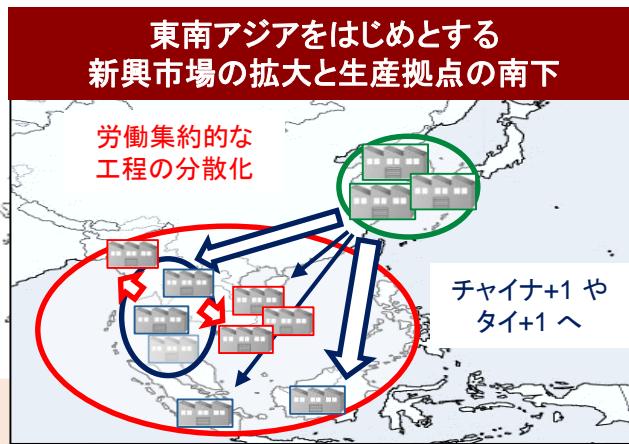


我が国の港湾を取り巻く情勢

船型の大型化に伴う寄港先の集約と海外港湾での積替輸送(T/S)比率の増大

	欧州	東アジア	北米
基幹航路の平均船型	(2001年) 5,000TEU ⇒ (2015年) 13,600TEU	(2001年) 3,900TEU ⇒ (2015年) 7,000TEU	
我が国への寄港ループ数(寄港率)	(2001年) 9/26 ⇒ (2015年) 2/21 (35%) ⇒ (10%)	(2001年) 31/49 ⇒ (63%)	(2015年) 16/61 (26%)
コンテナ貨物の直航輸送率(トンベース)	(2003年) 80% ⇒ (2015年) 59%	(2003年) 91% ⇒ (2015年) 86%	



中長期政策の構成

国内外の社会経済情勢の展望

- ✓ 新興市場の拡大と生産拠点の南下、インバウンド客の増加
- ✓ 人口減少・超成熟化社会の到来と労働力不足
- ✓ 第4次産業革命の進展
- ✓ 資源獲得競争の激化と低炭素社会への移行
- ✓ 巨大災害の切迫とインフラの老朽化

港湾政策の基本的理念

- ☆ 地政学的な変化やグローバルな視点を意識
- ☆ 地域とともに考える
- ☆ 「施設提供型」から「ソリューション提供型」へ
- ☆ 「賢く」使う
- ☆ 「進化する」港湾へ

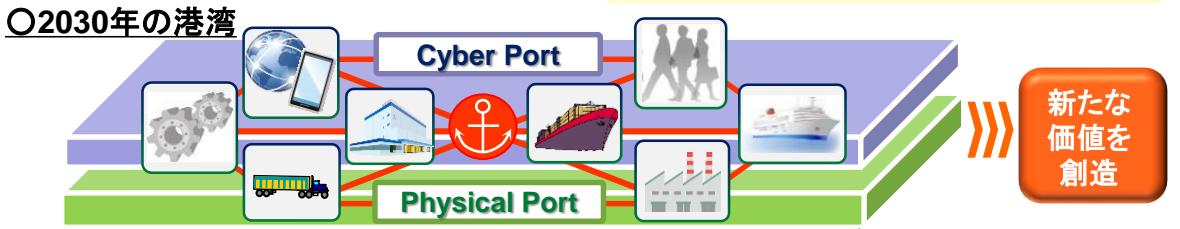
【2030年の港湾が果たすべき役割】

I. 列島を世界に開き、つなぐ【Connected Port】

- ・グローバルSCM、農林水産品輸出、越境EC等も活用して、世界で稼ぐ
- ・人手不足に対応し、国内輸送を支える
- ・再生部品輸出や越境修繕サービス等のサーキュラーエコノミーの取込み
- ・アジアのクルーズ需要の更なる取込み、寄港地の全国展開、国内市場の開拓

II. 新たな価値を創造する空間【Premium Port】

- ・地域の価値を向上させ、観光客や市民を引寄せ美しい「コトづくり」空間に
- ・ロジスティクスを核として付加価値を生み出す新たな産業の展開
- ・資源エネルギーチェーンの世界的な変化の先取り、コンビナート再生
- ・地球環境や海洋権益の保全



あらゆるモノ、ヒト、情報、主体、空間をつなぐ、「フィジカル&サイバープラットフォーム」へと進化

III. 第4次産業革命を先導するプラットフォーム【Smart Port】

- ・AIやIoTを活用した港湾の建設・維持管理・運営サイクル全体のスマート化、強靱化
- ・様々なつながりを通じて新たな付加価値の創出を目指す「Connected Industries」を支えるプラットフォームに進化させるとともに、海外展開やスマートワーク化を促進

- 中長期政策の方向性(8本柱)**
1. グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築
 2. 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築
 3. 列島のクルーズアイランド化
 4. ブランド価値を生む空間形成
 5. 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成
 6. 港湾・物流活動のグリーン化
 7. 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化
 8. 港湾建設・維持管理技術の变革と海外展開

